令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
保健体育科	1 興味・関心を引き出せる指導の工夫	(1)生徒の実態に応じた簡易ゲームなどを取り入れ、生徒の競技への関心を高める。 (2) 毎授業後に自己評価をロイロノートに記入させ、授業のモチベーションを高める。	A	A	生徒の適正に合わせた体育実技が展開できた。1年生は基礎を学び、2, 3年生で実践することができた。 さらに習熟度の授業を積極的に進めていきたい。 保健の授業においては、生徒の実態に合わせて、工夫した授業が展開できた。 さらにさまざまな生徒に対応するために、今年度以上にタブレットを使用し、グループでの学習を改善したい。
	2 実技テスト・筆記テストの導入	(1)授業に合わせた実技テストを導入する。 (2)能力に応じてテストの内容を工夫する。 (3)実態に応じて筆記テストを実施する。	A		
	3 保健の授業に於いて生徒を積極的に授業に参加させる工夫	(1)グループ学習や、発問を工夫して、多くの生徒が参加できる授業を行う。 (2)タブレットを積極的に活用させる。	A		